

「市長と語る会」の内容について

平成 29 年 9 月 25 日（月） 11：00～12：00

○世界自閉症啓発デー（LIUB）と福祉大作戦自閉症啓発ウォーキングの御礼とご協力継続のお願い

○成人の居住地について

成人以降の一人では自立した生活が難しい発達障がいの人たちの為のグループホームが市内に少ない。当事者の特性、事情を考慮された、親亡き後も地域で安心して生活できる場がほしい。

○放課後等デイサービスについて

- ・ 苫小牧では、18 歳の誕生日以降は児童放課後等デイサービスが受けられない現状を解決してほしい。
- ・ 現在 18 歳以降サービスを受けられない旨の連絡を早い段階でほしい。

○学校教育について

- ・ 教員の特別支援教育の指導の質のばらつきについて、今後も対策してほしい。
- ・ 市内特別支援学級の年度途中の児童増加に対応した教員補充の対策をお願いしたい。
- ・ 発達障がいの中でも、知的障がいのない子供たちのためのソーシャルトレーニングや不器用な子供たちのための運動、作業、制作活動など一般就労のために必要な社会性、作業などを学べる場がほしい。

○卒後の活動場所について

学校を卒業した発達障がいの 18 歳以降の人々の活動場所（仕事場・作業所・生活介助の場）が不足してきている。
日中活動の場がなくどこへも行けない当事者を作らないためのご協力をお願いしたい。

自閉症の人には、その特性から正しい理解と適切な支援が必要です。

彼らが暮らしやすい街は、どんな人にも暮らしやすい豊かな街です。

「隣で暮らしていても当たり前」「隣で働いていても当たり前」の社会の実現を願っています。

北海道自閉症協会苫小牧分会（あじさいの会）